



令和2年度第3回

国連大学OUIK「能登の里海」Webinar

里海の保全から考えるSDG14の達成 ー持続可能な水産資源の管理ー

2021年1月28日(木) 19:00～21:15

主催：

国連大学サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわ
オペレーティング・ユニット (国連大学OUIK)

共催：

石川県、「能登の里山里海」世界農業遺産活用実行委員会

参加申込：

- ・このイベントはオンライン開催のとなります。
- ・参加をご希望の方は下記のQRコード、もしくは
<http://ouik.unu.edu/events/3236>
よりご登録ください。
- ・登録後、当日アクセスしていただく
イベントに参加できるURL付きの
招待メールが届きます。
- ・メールが届かない場合などは
unu-iasouik@unu.edu
にご連絡ください。



今回の国連大学OUIK「能登の里海セミナー」は、SDG14の10個の目標から、持続可能な水産資源管理の取り組みに関するSDG14.4と14.6について勉強しながら、石川県の豊かな水産物と漁業の魅力を発信し、水産資源の維持について考えるイベントです。近年、国内外において漁獲量の減少に関する話題と動向、地域内外の保全取り組みを紹介するとともに、豊かな水産資源を維持するために私たちができることについて、国内そして能登地域の専門家の方々と共に議論します。

司会：国連大学OUIK事務局長 永井三岐子 氏

19:00-19:05	開会挨拶 国連大学OUIK事務局長 永井三岐子 氏
19:05-19:20	セミナー紹介「能登の里海ムーブメントとSDG14について」 国連大学OUIK研究員 イヴォーン・ユー 氏
19:20-19:50	【基調講義】基調講義「国内外の持続可能な水産資源の管理について」 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 八木信行氏
19:50-20:10	【活動紹介①】「石川の水産流通からできる資源管理」 石川中央魚市株式会社営業戦略室副部長 田丸達之氏
20:10-20:25	【活動紹介②】「能登町の伝統的な定置網漁」対談 能登町定置網漁日の出大敷網元 中田 洋助氏 X イヴォーン・ユー氏の対談
20:25-21:10	【パネルディスカッション】「SDG14.4とSDG14. 持続可能な水産資源管理の目標達成に私たちのできること」 モデレーター：ユー氏、パネリスト：八木氏、田丸氏、中田氏
21:10-21:15	閉会挨拶 国連大学OUIK所長 渡辺綱男 氏

スピーカープロフィール（登壇順）

イヴォーン・ユー



シンガポール出身、農学博士（東京大学）、専門は国際水産開発学。初来日の2001年に以降は、宮崎県、シンガポール国家交通省などの勤務を経て、2012年から現職。日本や韓国の世界農業遺産の申請活動を支援するとともに、国連大学の「SATOYAMAイニシアティブ」と「能登の里海ムーブメント」活動にも取り組み、里山と里海の持続可能な発展や、生態系サービスと生物多様性保全を研究。2014年から「能登の里海セミナー」を企画し、里海の研究と保全活動について国内外へ発信。

八木 信行



主な研究分野は、水産経済学、マーケティング、農林水産業のイノベーションなど。東京大学農学部卒、米国ペンシルバニア大学ウォートンスクール経営学修士（MBA）課程修了。東京大学博士（農学）取得。1987年農水省入省。2008年東京大学大学院特任准教授、2011年東京大学大学院准教授、2017年より現職。日本水産学会理事、日本学術会議連携会員、国連食糧農業機関（FAO）世界農業遺産（GIAHS）プログラムの科学アドバイザー会合委員（2019-2020年）なども務める。2019年カンボジア王国友好勲章（Royal Order of Sahametrei）受賞。

田丸達之



石川県金沢市出身。大学卒業後、北陸の拠点市場である金沢市中央卸売市場の水産卸として一日平均1億円以上の水産物を扱う石川中央魚市(株)に入社。石川県沿岸で主に定置網から早朝水揚げされた水産物の地産地消推進のため「石川の朝とれもん」プロジェクトの立ち上げに携わり、持続可能な水産流通の普及に力を注いでいる。金沢おさかな普及協会理事。金沢市中央卸売市場水産物部業務改善協議会幹事。

中田洋助



1987年生まれ。石川県能登町出身の定置網漁師。北里大学水産学部を卒業後製網会社に就職。四年間勤務する。その後能登町鵜川で有限会社日の出大敷に就職。現在は従業員20名の現場を指揮。船上活〆やIoTなど新しい技術を取り入れ、料理人と常に情報交換し、新しい漁業の形を模索している。小中高に海洋授業も出向き、現場の様子や町の漁業の事などを教えることを通し、漁師の魅力を伝える。有限会社日の出大敷は2019年はばたく中小企業300社受賞。